

研究課題名	当院の肺炎患者の傾向とリハビリテーションの効果
実施責任者	所属・職名： リハビリテーション部 理学療法士
	氏名： 森 雅大
研究の概要	<p>2020年の当院の肺炎と診断された患者様の平均年齢は84.7歳と超高齢であり、寝たきりや食事の中断、認知症など様々な要因が絡み合い、自宅や元の居住施設に退院できない症例を多く経験する。</p> <p>一方そのような高齢の患者様において、入院してから早くからリハビリをすることによって入院期間が短くなったり、より早く身の回りのことが自分できるようになるといわれている。</p> <p>当院における高齢な肺炎患者様の傾向とリハビリテーションの効果を検証する。</p>
対象となる個人情報	年齢、性別、体重、病名、肺炎重症度、血液検査データ、入院期間、リハビリが開始されるまでや初めて車イスに乗るまでの日数、リハビリでどれくらい身の回りのことができるようになったか、自宅に帰ることができたか否かなど
実施の期間	西暦 2021年 3月 1日より
	西暦 2021年 12月 31日まで
研究対象	2021.3.1～2021.11.30 の期間に急性肺炎または誤嚥性肺炎と診断され入院し、入院中に理学療法の依頼があった患者様約450例